

中国 2023年果実輸出入統計を発表

PRODUCE REPORT 2024年1月31日

中国商工会議所が最近発表した食料品、在来農産物及び動物性副産物の輸出入に関する報告書によると、中国の果実輸入は2023年を通じて増加傾向を維持した。年間を通じて、中国は752万トン、168億5千万ドル相当の果実を輸入し、2022年と比較してそれぞれ3%及び15%の増加を示した。一方、2023年の中国からの果実輸出は387万トン、49億8千万ドルで、それぞれ19%増及び8%増であった。注目すべきは、2023年が2020年以来3年ぶりに、中国の果実の輸出と輸入がともに増加した年となったことである。

輸出

2023年の中国産果実の輸出先トップ10(金額ベース)は、ベトナム(12億3千万ドル(前年比(以下同じ)+3%))、タイ(6億ドル(-10%))、インドネシア(5億5千万ドル(-2%))、香港(3億9千万ドル(-3%))、フィリピン(3億2千万ドル(+3%))、ロシア(2億6千万ドル(+44%))、マレーシア(2億1千万ドル(+0%))、キルギスタン(2億1千万ドル(+163%))、バングラデシュ(1億8千万ドル(+0%))、米国(1億7千万ドル(+0%))であった。2023年に最も輸出された果実は、生鮮リンゴ、柑橘類(マンダリン、ウンシュウミカン等)、生食用ブドウ、生鮮ナシ及びグレープフルーツであった。

生鮮リンゴ

中国は2023年に79万6千トン(-3%)すなわち9億7千万ドル(-7%)相当の生鮮リンゴを輸出した。主な輸出先はベトナム(14万3千トン(-1%)、1億4,800万ドル(-21%))、インドネシア(11万2千トン(-28%)、1億4,800万ドル(-22%))、タイ(10万7千トン(-7%)、1億4,700万ドル(-10%))、フィリピン(9万8千トン(-8%)、1億2,600万ドル(-7%))及びバングラデシュ(10万2千トン(-12%)、1億100万ドル(-18%))であった。

柑橘類(マンダリン、ウンシュウミカン等)

中国の2023年の柑橘類(マンダリン、ウンシュウミカン等)輸出は、83万2千トン(+41%)、8億5千万ドル(+19%)に達した。ベトナム(26万8千トン(+40%))、キルギスタン(10万6千トン(+172%))、インドネシア(8万4千トン(+4%))、ロシア(7万トン(+233%))、フィリピン(6万5千トン(+25%))、タイ(5万2千トン(-19%))、マレーシア(4万9千トン(-22%))が主な輸出先であった。

生食用ブドウ

中国の2023年の生食用ブドウ輸出は48万3千トン、8億1千万ドルで、タイ(12万800トン(+10%))、ベトナム(11万2,700トン(+11%))、インドネシア(8万3千トン(+26%))が主要な海外市場であった。

生鮮ナシ

2023年に中国は47万9千トン(5億4千万ドル相当)の生鮮ナシを輸出した。主な輸出先は、インドネシア(14万9千トン(-7%)、1億4,100万ドル(-3%))、ベトナム(10万4千トン(+13%)、1億1,800万ドル(+5%))、タイ(4万トン(-13%)、5,300万ドル(-10%))であった。

グレープフルーツ

グレープフルーツの輸出は、2023年に19万1千トン(+38%)、1億7千万ドル(+39%)に達した。主な海外市場は、オランダ(6万1,392トン(+28%))及びロシア(5万2,385トン(+57%))であった。

この記事(英文)は [中国語の記事](#) から翻訳されたものである。

執筆者: ジン・ザン

(訳注: 輸入の国別・品目別詳細は省略しました。中国語記事中の図表の使用には作成者の承認が必要です。)